

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成20年1月-12月](#) > 第二期生、アクセシビリティリーダー認定証授与式の開催について

第二期生、アクセシビリティリーダー認定証授与式の開催について

NEWS RELEASE



広島大学学長室広報グループ
〒739-8511 広島市鏡山 1-3-2
TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp
(※@は半角に置き換え送信してください。)

平成20年3月4日

アクセシビリティリーダーの二期生50名を認定
2008年3月6日、学長より二期生に認定証を授与

広島大学は、2006年度から取り組んでいる人材育成事業「アクセシビリティリーダー育成プログラム」の二期生50名を認定し、3月6日(木)、東広島キャンパス本部棟で、認定証授与式を行いますのでお知らせいたします。

■認定証授与式

日時:平成20年3月6日(木) 10時～
場所:広島大学本部棟 4F会議室

■アクセシビリティリーダーとは

障害者に優しい「バリアフリー」や、誰もが利用しやすいように設計されている「ユニバーサルデザイン」などの実現を目指す人材です。卒業後は、企業や行政、教育機関等における製品開発やサービス提供などの様々な場面において、アクセシビリティをリードし、コーディネートが行える人材として活躍が期待されています。

■育成プログラムについて

広島大学とマイクロソフト株式会社が、2004年10月に開始した情報社会を担う人材育成を推進する取り組みの中で、2006年に本学が日本の大学で初めて完成させました。

プログラムの概要は、別紙をご覧ください。

[別紙資料](#)

【お問い合わせ先】

広島大学 ボランティア活動室 担当:神野
電話&FAX:082-424-6324
メール:friends@hiroshima-u.ac.jp
(※@は半角@に置き換えた上、送信して下さい。)
ホームページ:http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiuniv/al/

広大公式アカウント一覧



> [広島大学公式ウェブサイトについて\(サイトポリシー\)](#) > [プライバシーポリシー](#)

Copyright(C) 2003-2014 広島大学
*電話番号・所在地
<編集>:広島大学広報グループ
✉ [お問い合わせはこちら](#)

広島大学がアクセシビリティリーダー二期生 50 名を認定 2008 年 3 月 6 日、学長より二期生に認定証授与

国立大学法人広島大学（学長：浅原利正、所在地：広島県東広島市、以下、広島大学）は、人に優しい社会をリードする人材の育成事業「アクセシビリティリーダー育成プログラム」を 2006（平成 18）年度より実施し、資格認定を行っています。2007（平成 19）年度アクセシビリティリーダー第二期誕生にあたって、学長によるアクセシビリティリーダー認定証授与式を、2008 年 3 月 6 日 10 時から、法人本部 4 F 会議室にて行います。

少子高齢化や国際化、高度情報化が顕著になり多様化が進む現代社会において、「個々の多様性をつつみこむ社会」の創生が求められています。「アクセシビリティリーダー」は、多様なニーズの特性を良く理解し、障害の有無や身体特性、年齢や言語・文化の違いに関係なく、情報やサービス、製品や環境の「利便性を誰もが享受できる豊かな社会」を創出する人材です。本学では、総合大学として、様々な分野に人材を輩出しておりますが、それぞれの分野の専門的素養に加えて、社会的ニーズでもある「アクセシビリティ」＝「利用可能性」「使いやすさ」に関する素養を兼ね備えた人材の育成を行うことにより、より広い分野でアクセシビリティの取り組みを活性化することを目指しています。アクセシビリティリーダーの大学卒業後は、企業や行政、教育機関等における、製品開発、サービス提供、就労環境の整備、CSR 活動など様々な場面において、アクセシビリティをリードしコーディネートが行える人材として、多様な分野での活躍が期待されます。

この育成プログラムは大学院生も含む全学の学生を対象に、体系的に編成されたもので、「オンライン講座」およびアクセシビリティに関連する 4 つの講義「概論」「実習 A」「実習 B」「研究」で構成される先進的でユニークな人材育成プログラムです。広島大学では、育成プログラムの講座・講義を修了した学生を対象に、資格認定試験を実施しています。第二期生に対しては、2007 年 10 月 26 日、27 日の 2 日間にわたって、第二回認定試験を本学にて実施し、50 名（大学院生 3 名、4 年生 9 名、3 年生 13 名、2 年生 25 名）の合格者を認定いたしました。これら合格者に対して、3 月 6 日、広島大学より「アクセシビリティリーダー認定」の証書を授与します。

本育成プログラムは、広島大学とマイクロソフト株式会社（本社：東京都渋谷区、以下、マイクロソフト）が 2004 年 10 月に開始した、情報社会を担う人材育成推進のための協力関係の取り組みの中で、2006 年に本学が日本の大学で初めて完成したものです。

広島大学は、オンライン講座や教材、教育プログラムを開発し、アクセシビリティ関連の授業および認定試験・資格認定を行い、マイクロソフトは、最新技術の情報提供、アクセシビリティリーダーの社会展開の支援を行っています。

広島大学は、全学的な取組みとして、「誰もが利用しやすいように」予めデザインするという「ユニバーサルデザイン」の概念を、「高等教育」へ適用拡張し、「高等教育のユニバーサルデザイン化」を先駆的に推進・実践しています。広島大学は、学生・教職員参加型のユニバーサルデザイン化の取組をアクセシビリティリーダー育成プログラムと連携して行っています。学生は、ユニバーサルデザイン化の取組に参加することで、アクセシビリティに関する知識だけでなく経験を積むことが可能です。

マイクロソフトは、本プログラムを修了した学生が、アクセシビリティリーダーとして社会で活躍するための研修を支援しています。これは、日本におけるマイクロソフトの企業市民活動の一環としての取り組みで、全ての人々が IT（情報技術）の利便性を享受し、快適で豊かな生活をおくることができる社会の実現に向けて、次代の情報社会を担う人材の育成を図るものです。広島大学、マイクロソフトの両者は、2004 年からのアクセシビリティ分野での共同活動を通じて、「社会のニーズを知り、人にやさしい未来を考える」をテーマに、「アクセシビリティリーダーキャンプ」を実施しています。

【アクセシビリティリーダー育成プログラム概要】

プログラム内容

アクセシビリティリーダー育成プログラムでは、下記の「基礎概念」「障害の特性」「支援技術活用」「環境整備」の内容を「STEP1：意識」「STEP2：知識」「STEP3：経験」「STEP4：技術」「STEP5：創造」の5つのステップを経て、段階的かつ体系的に習得します。

- 基礎概念：「アクセシビリティ」「ユーザビリティ」「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」などの基礎概念
- 障害の特性：視覚や聴覚、運動機能といった身体の障害や、年齢の違い、言語や文化の利害やデジタル格差といったバリアの要因
- 支援技術活用：「見る」「聞く」「動く」「操作する」「学ぶ」「伝える」などの支援技術の活用
- 環境整備：「生活環境」「就学環境」「就労環境」「地域」の環境整備

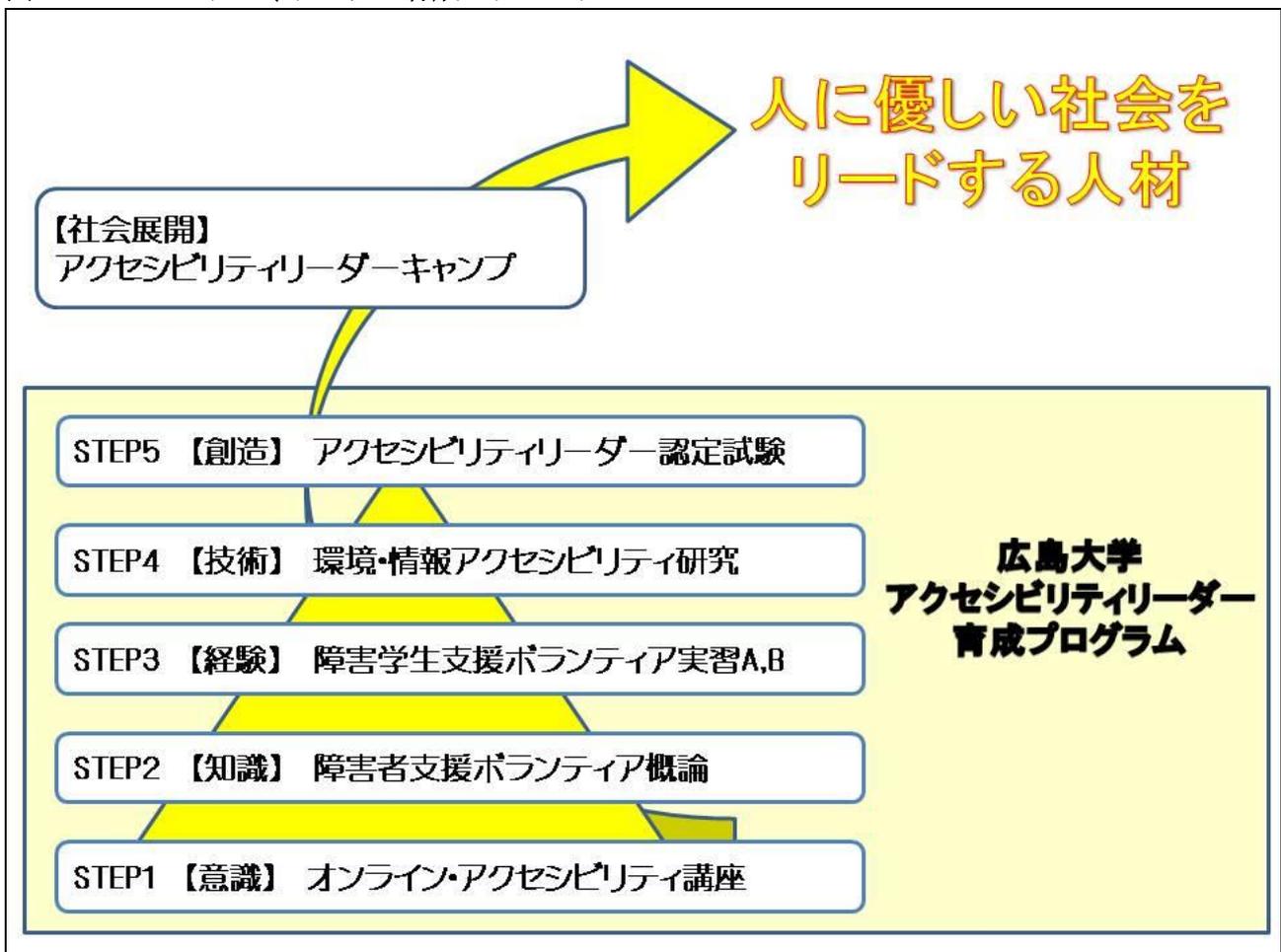
アクセシビリティリーダー認定

本プログラムにて STEP4 の修了者に対して、広島大学によるアクセシビリティリーダーの認定試験を実施。

アクセシビリティリーダーキャンプ

アクセシビリティリーダー認定者のうち、さらに意欲のある学生を対象に、「社会を知る」「最新の技術動向を知る」「未来を考える」をテーマに、東京のマイクロソフト社を拠点として研修会を提供。

図：アクセシビリティリーダー育成カリキュラム



お問い合わせ

広島大学 ボランティア活動室
電話&FAX 082-424-6324
メール friends@hiroshima-u.ac.jp
ホームページ <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiuniv/al/>